

備前市のグルメと観光

グルメ

◇カキオコ

日生産のカキを使ったお好み焼「カキオコ」は、B-1グランプリやマスコミを通じて全国にその名を知られ、日生を代表するグルメとなっています。平成14（2002）年1月26日、「日生カキお好み焼研究会」（現「日生カキオコまちづくりの会」）が設立され、カキ入りお好み焼きを大々的に売り出しました。冬の日生は、お好み焼き店の前の行列が風物詩となっています。



カキオコ

◇焼きかき

備前市は県内養殖かき生産高No.1。焼きかきをはじめ、店舗では様々なかき料理を楽しめます。令和6（2024）年豊洲市場で開催された全国牡蠣11グランプリ加熱部門で「日生かき」が初代チャンピオンに選ばれました。

◇魚介料理

四季折々の瀬戸内の新鮮な魚介を使用した料理は、春の鰯の炒り焼き（すき焼き風）やこうこ寿司など多彩です。



鰯のこうこ寿司

◇備前フルーツ

〈葡萄〉

ピオーネ
シャインマスカット
桃太郎ぶどう
オーロラブラック
安芸クイーン
紫苑など

〈桃〉

清水白桃
おかやま夢白桃
紅清水・末木白桃
さがけ白桃
加納岩白桃
川中島白桃
夏おとめ
〈いちじく〉

備前市は西洋イチジク「榊井ドーフィン」の岡山でも数少ない産地の一つで、地域の特産品になっています。果皮は赤褐色で、ほどよい甘みとさっぱりした風味が特徴です。

〈日生みかん〉

鹿久居島、頭島、鴻島などからなる日生諸島は、昭和中期より瀬戸内海の温暖な気候を利用したみかん栽培が盛んになり、毎年10月初旬から12月初旬の「みかん狩り」は有名で、岡山県内だけでなく関西方面などからも多くのお客様が訪れます。

◇醤油ソフトクリーム

香登の老舗醤油醸造所、鷹取醤油（株）で平成12（2000）年から販売する醤油ソフトクリームは、バニラアイスに醤油をかけて食べたのが始まり。



◇片上ずし

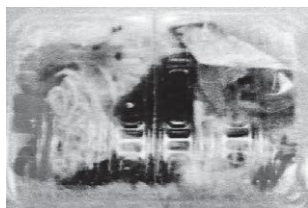
備前岡山藩の儉約令「一汁一菜令」のもと、庶民の間で広く食べられてきた、備前ばら寿司の一つ。魚や野菜を寿司の具に使用し、飯を食べるときのお菜でなくなるといふ理屈で、酢飯に混ぜて食べたものです。また、酢飯の下に具を隠して盛り付けた「返し寿司」などもあります。

◇ねこめし

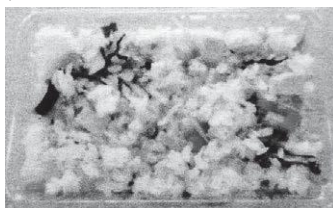
吉永町神根地区に古くから伝わる郷土料理です。「おひつ」を冷めないように「ねこ」と呼ばれる藁で編んだ籠の中に入れていたことに由来します。サバや季節の野菜を混ぜ込んだご飯です。



ねこめし



片上ずし（具が隠された裏面）



片上ずし（質素な表面）

観光

【備前地区】

◆備前焼

・伊部の町並み



作家、窯元の軒が並ぶ街並みを散策するもよし、店に入って品定めするもよし、備前焼の世界を十分に味わってください。

・天津神社

備前焼の狛犬・屋根瓦・参道の陶板など、焼き物のまちならではのたたずまいを見せる神社です。



天津神社



・備前焼まつり

毎年10月の第3日曜日とその前日の土曜日にJR伊部駅周辺を中心に開催。備前焼が通常価格の2割引きで販売され、グルメも多くのお店があることから、毎回10万人前後の備前焼ファンが訪れます。令和2(2020)年と令和3(2021)年の2年間はコロナの影響で開催が中止となりましたが、2022年から再開しました。令和6(2024)年、第40回を迎えました。



◆閑谷学校

閑谷学校周辺では、2月から4月にかけて鶴鳴門前の梅、椿山の約400本のヤブツバキ、あちらこちらに植えられた桜が次々に咲き、華やかな春を迎えます。

楷の木が紅葉する11月には、講堂や楷の木がライトアップされ、幻想的な夜の閑谷学校を楽しみに多くの人が訪れます。また、もみじが色づく黄葉亭も趣があります。隣接する青少年教育センター閑谷学校に予約すれば、国宝の講堂内で論語体験などできます。



◆真魚市

伊里漁業協同組合が毎週日曜日の朝に開く真魚市は、県内各地や関西方面の客で賑わいます。特に、カキのシーズンには、周辺道路が渋滞することもしばしばです。また、海産物だけでなく、野菜や花、乾物などの店や飲食店も出店し来場した客を飽きさせません。

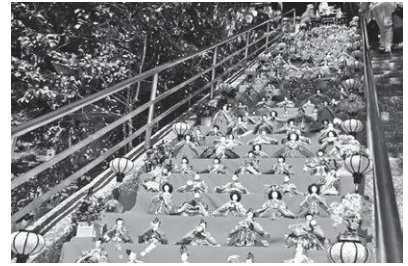


◆深谷の滝

三石の船坂地区にある深谷の滝は、高さ15m、幅2mの雄滝の滝壺から流れ出た水が、その下の高さ7m、幅3mの雌滝となって流れ落ちる、2段からなる東備地区最大のもので



◆宇佐八幡宮・片上ひなめぐり



宇佐八幡宮は、足利尊氏の勧請によるといわれ、由緒によると尊氏が九州多々良浜の合戦で軍兵がおおいに疲れたので、豊前の宇佐八幡宮に参籠して武運を祈って霊験があり、戦に勝ったので深く信仰し、九州から上洛の途次、当所の富田松山に宇佐八幡宮を勧請し、鞍も寄進しています。応永元(1394)年八幡大神の託宣によって和鹿林(若林)山頂に遷座し、その後正保3(1646)年に中腹の現在地に遷座されました。

石段下の備前焼の宮獅子一対は、高さ145cmの堂々たる獅子で、阿形には「文政9年9月吉日 備前窯元森五兵衛尉正統」卅形には「伊部細工人服部章兵尚芳、森五平衛正統」と刻まれており、全国屈指の大きさと制作者・年月のわかる優品で市文化財に指定されています。

また、平成13(2001)年からつくづく片上ひなめぐりは、片上の春を彩る一大イベントになっており、宇佐八幡宮の石段ひな飾りは特に華やかで、市外からも多くの観光客が訪れています。

〔引用元〕

・『備前ふるさと探訪』 平成21年2月 花岡志郎

【日生地区】 ◆五味の市



日生町漁業協同組合が運営する「五味の市」は、日生近海の水産物を中心に、春はサワラ、夏は穴子や鰻、秋はチヌやマダコそして冬はカキなど旬の魚や貝類を販売しています。

特に冬のカキシーズンには、「真魚市」と「備前海の駅」と併せてカキをメインに海産物を求めて県内外から観光客が訪れます。

◆ひなせかき祭



毎年2月下旬に行なわれるひなせかき祭は、カキのフルコース。さまざまなカキグルメで県内外からのカキファンをもてなします。

◆日生諸島

平成27(2015)年4月16日に開通した「備前♡日生大橋」により、鹿久居島から「頭島大橋」を経て頭島までがつながり、鹿久居島でのみかん狩りや、島の民宿での宿泊など、より便利に日生諸島を満喫できるようになりました。

また、大多府は北前船の寄港地として元禄防波堤や灯籠堂の石塁、大井戸が日本遺産に追加登録され、鴻島は別荘の島として多くの別荘が立ち並んでいます。これらの島々へは、定期船が就航しており、平成29(2017)年10月から就航している「NORINAHALLE(のりなはーれ)」は、「ななつ星in九州」などの観光列車を手掛けたトーデザイン研究所の水戸岡鋭治氏のデザインによるもので、従来の定期船にない豪華な客室と、斬新なシルエットが特徴です。

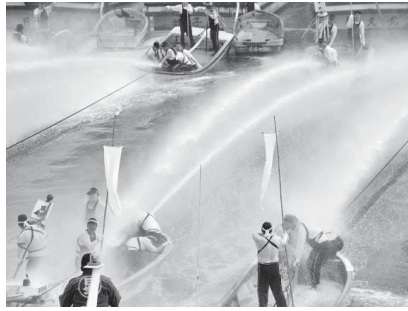


◇古代体験の郷 まほろば

縄文時代の土器が出土した鹿久居島の千軒遺跡の近くに、古代体験のできる「まほろば」があります。竪穴式住居や、火起こしなど、縄文時代の生活を体験することが出来ます。



◇源平放水合戦



備前市消防団日生方面隊の出初式関連行事として昭和25(1950)年から行われています。消防団員が二手に分かれ、小舟の上から水の勢いと冷たさに耐えながら、相手めがけて一斉に放水します。そして最後に赤、青、黄、緑、オレンジに着色した水を空高く噴射します。

【吉永地区】

◇八塔寺ふるさと村

・古民家宿泊

八塔寺ふるさと村には、「八塔寺国際交流ヴィラ」と「八塔寺山荘」の二つの宿泊できる茅葺の古民家があり、海外からの観光客や日本在住の外国人も多く利用しています。



八塔寺国際交流ヴィラ



八塔寺山荘

・民俗資料館

昔の人々の暮らしを感じられる、茅葺きの建物です。縁側に腰かけると、ゆったりと時が流れていく気がします。



民俗資料館 外観



民俗資料館 内部

◇田倉牛神社

石で彫刻された牛がご神体で、境内には数十万頭の備前焼の牛が奉納されています。願い事のある人はそれを一つ借りて帰り、願いが叶うと借りた牛に新しい牛をひとつ付けて返します。1月5日の大祭は特に賑わいます。



田倉牛神社



和意谷池田家墓所

◇和意谷池田家墓所

岡山藩主・池田家代々の墓所。緑豊かな木立のなか2千個の踏み石が続く参道を行くと、豪壮な7つのお山が築かれています。